

東京「中央大橋」

下部工耐震補強工事が進む

東京・中央区の隅田川にかかる中央大橋で「耐震補強工事」が進んでいる。東京駅から八重洲通を直進し、隅田川を越え、東側の佃1丁目に至る。竣工は1993年8月26日で、レインボープブリッジと同じ日に開通予定。発注者は東京都第一建設事務所、受注者はピーエス三菱。工事現場の橋の上部と連携を取りながら作業が進められている。

東京・中央区の隅田川にした。構造形式は、二径間連続鋼斜張鋼橋。橋長210.7m、幅員25mで、橋桁は石川島播磨重工業(現・IHI)が製作した。

工事は昨年7月から着手され、今年3月14日完成の予定。発注者は東京都第一建設事務所、受注者はピーエス三菱。工事現場の橋の



ご不便をおかけします

**中央大橋下部工の耐震補強工事を
行っています**

平成28年 3月14日まで
時間帯 8:00~17:00

橋脚補強工事
発注者 東京都第一建設事務所
〒100-0005 東京都千代田区千代田 電話 03-3542-1726
03-3544-8831
受注者 株式会社ピーエス三菱 電話 03-6365-9511

耐震補強工事が進む東京・中央大橋のようす



小田社長(左)と戸谷氏

鉄を熱し叩いて形を変え、門扉や手摺、カーテンレールや鏡の枠などを製作することをロートアイアン、またはアイアンワークなどと称し、近年では専門に行う人やDIYとして趣味とする人も

小田鉄工(兵庫)

鍛鉄でドアノブや手摺を「ロートアイアン」事業

住宅に設置する手摺やタオルかけなどの製作実演を行った。

小田社長は今回の試みにあたり「休日の工場や設備を有効に使い、なおかつ一般の人に溶接や鉄に親しんでもら

る戸谷信也氏と倉内南氏を同社工場に招き、

兵庫県のMグレードアップ、小田鉄工(加西市鴨谷町655-1、小田岳人社長)ではこのほど、愛知県で金属造形作家として活躍する戸谷信也氏と倉内南氏を同社工場に招き、



鉄を叩く倉内氏

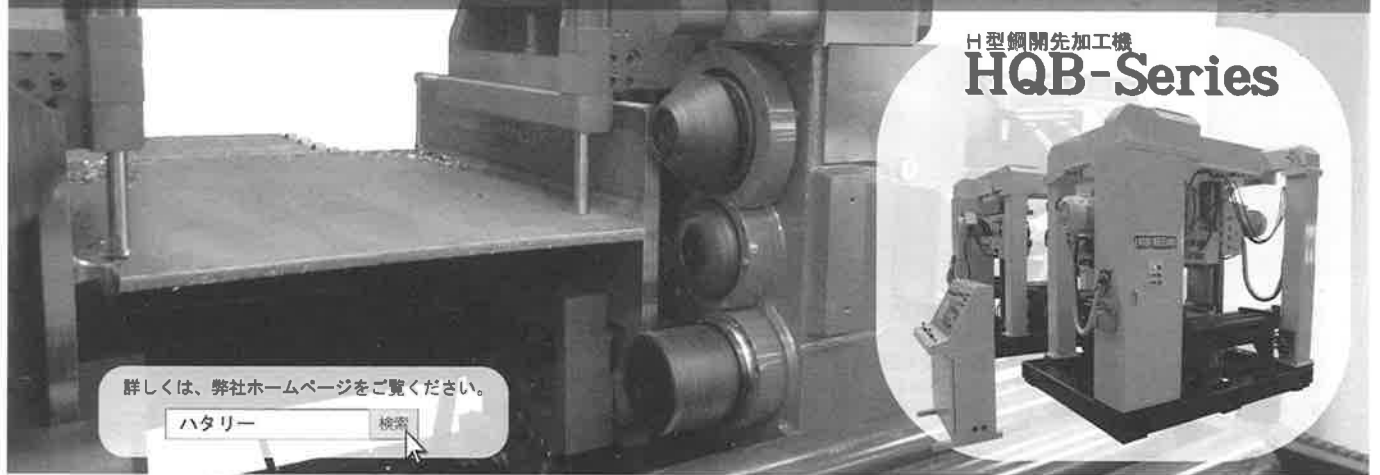
一昨年から、一般向けに鉄の溶接や加工を行うロートアイアン教室の事業化の可能性を模索、原寸場を専用工場とするなど準備し、今回、製作実演をするに至った。

「いたい」とし、工場周辺の人との交流が生まれることを期待している。さらに、事業として新分野開拓や設備の稼働率向上、仕事量の平均化、従業員のスキルを活かすことでモチベーションが向上することに加え、ファブの認知度拡大につながることへの期待も寄せる。



一本の鉄で製作した手すり

独自のNC技術で高精度加工と抜群の操作性を実現



H型鋼開先加工機
HQB-Series

詳しくは、弊社ホームページをご覧ください。

ハタリー

検索

Hataly 株式会社 ハタリー

事業本部 福岡県遠賀郡岡垣町糖塚二又365番地
TEL 093-282-5731 FAX 093-282-5400

URL <http://www.hataly.co.jp>
Mail info@hataly.co.jp

営業所 関東/関西/九州

週刊 鋼構造ジャーナル

2016
1/25 NO. 1754

週刊(毎週月曜日発行)／購読料・1カ年49,500円、6カ月27,000円(税・送料とも)／昭和55年9月26日第三種郵便物認可／発行所・株式会社 鋼構造出版／発行人・田中正幸 編集人・大熊隆／本社・東京都中央区日本橋茅場町2-2-2 三恵ビル5階 〒103-0025 電話 東京03(5642)7011(代表) F A X 03(5642)7077 /大阪支社・大阪市西区西本町1-14-3本町コスモビル 〒550-0005 電話06(6536)2601(代表) F A X 06(6536)7603 /札幌支局・札幌市白石区北郷4条3丁目2-21 〒003-0834 電話011(879)7666 F A X 011(873)3636 /振込銀行口座・みずほ銀行京橋支店024-1044873 /郵便振替口座 東京00130-9-13713

「わが国周辺の海洋安全保障」

おもな記事

- 全構協・理事会／落橋防止装置への対応など協議……(2面)
- H形鋼は7万3000円／物調の1月資材価格調査……(6面)
- NDT関西賀詞交歓会／「社会への技術的貢献を」……(7面)
- 丸杉会／賀詞交歓会と講演を聞く会に550名参集……(12面)
- ジャパンガルバー米沢工場／新ラインが稼働……(13面)

- 新春・トップが語る16年わが社の方針／奥石房樹、木村寛(14面)
- 高橋 学、森本 慶樹(15面) 田所 雅彦、竹田 雄一(16面)
- 杉本 真一、児玉 克(17面) 渡部 康二、藤本 憲司(18面)
- 古里 龍平、近藤 勝彦(19面) 波田 邦宏、市野 登(20面)
- 播磨 裕敏、近藤 健司(21面) 遠藤 茂春、大津 尚彦(22面)

36ページ



①あいさつする米森会長②賀詞交歓会(才賀・建設産業専門団体連合会会長の発声で乾杯)
③④理事長会では「わが国周辺の海洋安全保障」をテーマに講演会

全国鐵構工業協会(会長 米森昭夫・ヨネモリ会長)は15日、東京・中央区の鉄鋼会館で会員、来賓関係者ら約230名を集め、平成28年新年賀詞交歓会を開催した。

米森会長は、冒頭のあいさつで「今年度の鉄骨需要量は500万トンを超えている。今後2、3年はこの状況が続く」と業界の現状を説明。また、「昨年は『教育元年』と位置付け、教育を重点的に取り組んできた。今年も継続して推進したい。一方、昨年は建設業界に

演を行った。(関連記事2面)

「教育」と「品質管理」を重視

全国鐵構工業協会

230名集め賀詞交歓会開く

において落橋防止装置の溶接不良など一連の不祥事が起きたが、われわれも注意を怠ることなく、安心・安全な鉄骨を供給できる業界に育てる必要がある。専門家を集めて特別なプロジェクトを立ち上げて品質管理を徹底的に実施したい」と新年の決意とともに新たな活動への意欲を示し、理解と協力を求めた。

引き続き、経済産業省製造産業局鉄鋼課の成瀬輝男課長補佐、国土交通省住宅局建築指導課の石崎和志課長のほか、脇雅史・参議院議員、佐藤信秋・参議院議員らが来賓あいさつを述べ、建設産業専門団体連合会の才賀清二郎会長の乾杯の発声で懇親会に移った。

なお、当日は同所で三役会、理事会、理事長会も開催。このうち理事長会では「わが国周辺の海洋安全保障」をテーマに石川製作所東京研究所長の福本出氏(元海将、海上自衛隊幹部学校長)が講演を行った。(関連記事2面)